

ミサイル発射に係るＪアラート等の情報伝達時の対応について

京都府立城陽高等学校

1 登校前の場合

登校を見合わせ、自宅で待機する。以後の指示は本校ホームページで行う。

2 登下校中の場合

- (1) 近くの建物や地下に避難する。また近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。
- (2) 公共交通機関等を利用している場合は、乗務員等の指示に基づく行動をとる。
- (3) 続報を待ち、安全が確保されるまで避難を継続する。

3 授業中及び休み時間の場合

担当教諭及び放送の指示に従う。

※Ｊアラート 北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する
可能性がある場合における全国瞬時警報システム

Ｊアラートの情報伝達方法

- ・市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れる。
- ・携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信される。